



キャンパス内の一風景

米国サウスカロライナ州の北西部に位置する州立大学であるクレムソン大学は、湖畔の緑の多い大学町クレムソンにあり、隣りのジョージア州アトランタからは北東へ車で約2時間半ほどの距離である。クレムソン大学は1889年にトーマス・クレムソンにより農業専門学校として創設され、現在は5つの学部で改組され、それらは農学、森林学、建築学、美術、商学、理学、工学、教育学などから成り、学生数約16,600名(大学院生4,100名を含む)を擁する総合大学である。

1,400エーカーの広大なメインキャンパスには、手入れの行き届いた芝生と大きな木々が茂り、リスが走り回っている。また、構内にアメリカンフットボールの競技場があり、9月から年末までの毎週土曜日には80,000人もの観衆を集めて試合が行われ、その収益は大学の重要な運営資金にもなっている。サウスカロライナ州はいわば南部の1州であり、南北戦争の歴史に深く関わる土地柄だけに、近隣にはその名残りを今もとどめている。

1992年3月に、クレムソン大学工学部と広島大学工学部間に浦上育英会(リョービ株式会社内)の資金援助を得て、学部間交流協定が締結された。その後、両大学間で学生の交流事業が行われており、私は95年7月末より派遣研究員として5か月余り滞り、機械工学科のイムティアズ・ハック教授と機械の動力学に関する共同研究を行う機会を得た。滞りした工学研究科の建物内では、各教室のドアがいつも開放され大学院生が教官と活発に討論していたのが印象的であった。今後も両大学間での研究、文化の一層の交流を期待したい。

工学部機械設計工学講座 池田 隆 (いけだ・たかし)



クレムソン大学のシンボルタワーであるTillman Hall

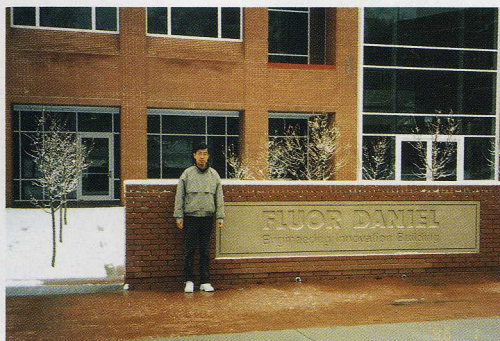


世界の大学 シリーズ 26

クレムソン大学
アメリカ合衆国



アパートにお招きして
(右から前後にハック教授夫妻、岸本教授夫妻、筆者)



工学研究科の建物(卒業生の寄付による建物)の玄関前で筆者

Forum gallery (裏表紙説明)

時を刻もう

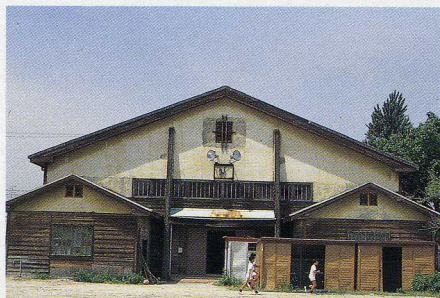
昨年6月、学部移転と老朽化のため取り壊されました県内最古の木造体育館を、附属東雲中学校1年生79名が「私たちの記憶の中に刻んでおきたい」思いを木版に刻み、表現しました。

あの時の空にみんなの思いを重ねてみると、優しい木の温かさと響きが伝わってくるようです。

広島大学附属東雲中学校
美術科教諭 三根正典

版画: 附属東雲中学校
平成7年度入学生

写真: 佐藤 宏



(表紙説明)

オリオン大星雲 M42

冬の夜空を代表する星座オリオン座にあるオリオン大星雲M(メシエ)42は、澄んだ夜には西条からでも肉眼でその存在がわかり、また小さな双眼鏡でもその形がよくわかります。この星雲の正体は、宇宙空間を漂う水素ガスの雲で、そのガスの中では現在も、新しい恒星が誕生しつつあります。実は、我々の太陽系の太陽を始めとする星々も、この美しい星雲のようなガスの中から生まれてきたのです。みなさんも機会があれば、我々が遠い昔生まれきた宇宙の故郷に目を向けてみてはいかがでしょうか。

1993年10月 広島県倉橋町にて撮影
高橋製作所製 口径16cm 反射望遠鏡

(天文学研究会所有)

焦点距離 約850mm EM-100 赤道儀半自動撮影
フジカラスーパーG-400 露出25分
経済学部経済学科4年 滝本勇紀



1996年7月24日
工学部第二類学生岡崎善郎君と(本人左)